

木曾駒ヶ岳 伊勢滝コース

スキードロップポイント偵察

2022年10月15, 16日

参加者：桐林



木曾駒ヶ岳 将棋頭岳側



濃ヶ池カール

昨年、ゲレンデで技術を身につけ、阿智村周辺の山を当たって滑った。そして、木曾駒ヶ岳の伊那前から千畳敷・濃ヶ池カール、富士山須走と自分の限界を探った。自分の中で濃ヶ池カールが無性に惹きつけられ、別のポイントがあるのではないかと今回調査した。計画前は黒川滑降目的だったが、顕著な滝は無さそうので積雪量の見極めが重要であるとわかりさっさと違うところに目を向けた。

1日目は浜松を2時前に出発。宮田高原駐車場を6時過ぎ歩き出した。崩壊が目立ち、ロープウェイの完成後の閑散さがよくわかった。林道としてまともに使用できる箇所は黒川取水場まで。それ以降は黒川と近づいたり離れたりと、積雪がある場合、逃げたい時の夏道がわかりにくい。伊那前岳南面の落差50mある箇所が冬季の場合、どういう状態になっているか予想がつかない。

駒飼の池-乗越浄土-駒ヶ岳-濃ヶ池と進



A. 駒ヶ岳-黒川

み、地形を確認した。[駒ヶ岳ロープウェイ](#)で紹介しているAコースはなかなかの景観。ダメなら、駒飼の池へ。今回の主眼、濃ヶ池カールは前回のドロップラインはやはり上部が肝。それ以降の傾斜は問題なさそうだ。雪の状態ダメなら、青線の尾根形状ラインも良さそう。黒川へと落ちていく。

紅葉は終わりかけで、『濃ヶ池で朝食を』を来年はやってみたい。